

「いたばしNo.1実現プラン2021」素案について

「No.1プラン 2021(中間のまとめ)」で示した枠組みに基づき、庁内調整を図りながら、各計画の施策展開や事業の概略などを盛り込んだ素案を作成した。

1 「No.1プラン 2021(素案)」について

(1)「総論」

- ステップアッププログラムとしての位置付けを明確化するため、「No.1プラン 2018」における成果の一端に触れるとともに、「No.1プラン 2021」が掲げていく視点を示した。
- 新公会計制度の活用に関する記述を加えた。
- 財政分析と人口分析を加えるとともに、今後の財政状況を見極めた行財政運営の必要性を示した。

(2)「実施計画」

- 「No.1プラン 2018」から引き続き事業化が想定される事業について、事業経費と年次配分を除く「3か年事業内容」を示した。
- 施策ごとの目標に向かって効率的かつ効果的な事業展開を加速させていくため、施策の実現に関連性の深い事業や、投資的な性格を持つ施設整備事業を計画事業として選択・整理を進めた。

(3)「経営革新計画」

- 持続可能な区政経営を実現するための計画理念を明確化した。
- 計画事業は、「概要」、「内容」、「年度別計画」、「計画期間の目標」を示した。

(4)「人材育成・活用計画」

- 職員意識調査による課題への対応を明らかにすることで、計画の視点を明確化した。
- 計画事業は、3か年で取り組む項目について「概要」、「区分」、「内容」を示した。

(5)「公共施設等ベースプラン」

- 公共施設におけるファシリティマネジメントやエアーマネジメントの考え方を加えた。
- 限られた財源の中で、効率的かつ効果的なサービスを提供するため、コスト管理や民間活力の活用に関する内容を加えた。
- 基本計画期間内に対応等が必要とされる個別施設についての検討行程等を示した。
- 土木インフラについての記載を加えた。

2 「No.1プラン 2021(原案)」の作成に向けて

- 「No.1プラン 2018」における実施計画事業の中で、順調に始動し、事業展開が軌道に乗り、一定の成果が上がっているものについては、次のステップに向け創意工夫ができるよう進行管理の枠組みを替えて行くことを検討する。
- 「実施計画」は、施策の目標を達成するために、新しい事業展開が必要とされるものを新規事業として位置づけるとともに、3か年の事業量及び事業経費の精査を進める。
- 「経営革新計画」は、年度別計画を精査することで、経費の積算を行う。
- 「公共施設等ベースプラン」は、「実施計画」及び「経営革新計画」と整合を図り、基本計画期間内における個別施設の対応について、3か年の事業量及び経費と後期4か年の事業量の目安を明らかにする。

3 スケジュール

